



# まほろん大人の塗り絵

## 法正尻遺跡大木 8a 式期のムラ

上は、磐梯町と猪苗代町にまたがる法正尻遺跡にあった、縄文時代中期のムラの推定画です。約 5,000 年前の姿を描きました。

遺跡の南東上空から北西方向を見えています。この頃のムラは、前代の大木7b式期と同様に、遺跡東側の窪地に広場があり、その北に複数の竪穴住居が貯蔵穴を伴って建てられています。竪穴住居は、小型のものが増える傾向があります。竪穴住居跡群の西側にあるムラ

共有と考えられる貯蔵穴は数が増え、それらが作られる範囲も広がります。墓域は、住居跡群北側と東側の範囲で居住域に変わる他は、前代から継続しており、新たにムラ共有の貯蔵穴群西端にも営まれます。

その他に、この絵には、土器焼き、竪穴住居建設、樹木伐採、貯蔵穴からの食料取り出し、狩りなどのシーンが描かれていますので、探してみてください。